

あすなろ

平成21年度 1月号

平成22年 1月4日
四天王寺悲田院 通園施設

子どもたちの目標



- 「規則的な生活と元気な体づくり」
- 「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
- 「自分のことは自分でする」
- 「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
- 「知らない所でもなじむことができる」
- 「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
- 「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」

四天王寺悲田院通園施設
施設長 原健一郎
職員 一同

旧年中は大変お世話になり、
ありがとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。
平成二十二年 元旦



あけまして
おめでとう
ございます

新しい年の始まりです。今年もみなさんとともに、充実した1年を過ごしたいと思っております。元気な子どもたちに負けないよう、職員一同もがんばります。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

1月の予定

- 1日(金) 元旦 ~1月3日 冬期おやすみ
- 11日(月) 祝日 せいじんの日
- 16日(土) おやすみ
- 19日(火) 運営協議会
- 27日(水) ひなんくんれん



おしらせ



- 1月から1ヶ月間、悲田院診療所に研修医が来ます。通園の診察、療法・保育場面の見学等も予定されています。対象となられる方には事前にお知らせをいたしますが、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。



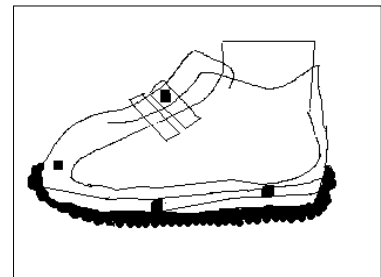
「靴えらびについて」

作業療法士 加藤世里子

私達は外出する時、毎日何気なく靴を履いていると思います。大人が自分の靴を選ぶ時、履き心地や、用途に応じて選んでいますよね。皆さんは、子どもさんの靴はどのように選ばれていますか？ 子どもさんが成長していく中で、それぞれのお子さんにあった靴を選択することは大切なことです。そこで、今回は「靴選びのポイント」をお話します。

●子どもさんに適した靴のポイント

- ① 爪先が広く高さがある（指を圧迫したり、足指の自由な運動を妨げないように！）
- ② つま先が少し反り返っていること（子どもさんはべた足で歩くため、反り返りがないと蹴りだしにくく、つまずきやすくなります）
- ③ 足の曲がりに対応して靴が曲がる（歩行時、足は55～60度の角度で曲がるので、靴もその角度で折れ曲がるように→（靴底が前約1/3の位置で曲がるように！）
- ④ かかとがしっかりしている
（かかとは発達していく骨を保護します）
- ⑤ 弾力性のある靴底である
（弾力は衝撃を吸収し、足にかかる負担をやわらげます）
- ⑥ 紐靴がマジックベルト式の靴
（足に合わせられるように微調整のできる物を！）
- ⑦ 通気性と放湿性のある素材



●子どもさんが靴を履いた時のチェックポイント

- ① 爪先に5～10mmの余裕（捨て寸）がありますか？
- ② 足と靴の曲がる位置が合っていますか？
（足の幅の一番ひろい部分が靴の幅の広い部分にあっているかどうか確認！）
- ③ 甲の高さと幅が足に合っていますか？
（ひも靴やマジックベルト式なら、締めたり、ゆるめたりすることで、足に合わせて多少調整ができます）
- ④ かかとの大きさが合っていますか？
（歩く時にかかとは浮かないかどうか確認！）



●成長がはやいので大きめの靴を購入したい場合は？

ワンサイズ5mmが限度です。爪先の余裕が10mmなら、足が曲がる位置と靴が曲がる位置を紐靴やマジックベルトであればなんとか合わせることができます。また、中敷（インソール）を入れてあげるのも良いでしょう。

●おさがりの靴を履きたい場合は？

よく兄弟や知り合いから頂く事はあると思います。おさがりの靴は、頂いた子どもさんのくせがついているので、成長過程にある子どもさんには良いとはいえません。この場合は中敷（インソール）を新しくしてあげるとよいと思います。

*子どもさんによって様々な配慮を要する方もおられます。靴について悩んでおりましたらいつでも気兼ねなく聞いてくださいね。